

| 番号 | 日付 | 時間 | 演題 | 会場 | 人数 | 対象者 |
|------|---|-------------|--|--------------------|-----------------------------------|-------------------------------|
| 15 | 11/7(火) | 13:30~14:30 | 子育てに役立つ教育学 | ② 鶴岡記念講堂 多目的室 | 20 | 一般 |
| 講座内容 | 子育てや教育に関する日頃の思いについて、参加者同士、語らいの時間にしたいと思います。 | | | 講座担当者 | こども発達学研究科長・教授 加藤 裕明 | |
| 16 | 11/15(水) | 10:00~11:30 | こどもの作業療法について | ② 鶴岡記念講堂 多目的室 | 50 | 一般 |
| 講座内容 | 発達障害児は何かについて、簡単にお話しします。発達障害児が受けている支援はどういったものがあるかや、そのなかで作業療法はどういうことをするのかについてお話しします。 | | | 講座担当者 | リハビリテーション学科講師 金 京室 | |
| 17 | 11/16(木) | 10:40~12:10 | 65歳からの元気生活 ~フレイル予防~ | ④ 鶴岡記念講堂 921教室 | 50 | 一般 |
| 講座内容 | 年齢を重ねることにより心身の機能が衰え、健康問題が起きやすくなります。この状態をフレイルと呼びます。しかし、日々の生活を変えることでフレイルは予防することが可能です。ここではその方法について考えていきたいと思っています。 | | | 講座担当者 | 特任教授 生駒 一憲 | |
| 18 | 11/16(木) | 13:30~14:30 | いざという時に役立つ介護保険の知識 ~安心して在宅療養するために~ | ② 鶴岡記念講堂 多目的室 | 50 | 一般 |
| 講座内容 | 介護保険制度の目的と現状を踏まえ、制度の仕組みや介護サービス、介護予防についてお話をさせていただきます。「介護保険制度って何?」という疑問を少しでも解消し、安心が増えるように参加者の質問にお答えし、共有しながら進めていきます。 | | | 講座担当者 | 看護学科講師 小橋 拓真 | |
| 19 | 11/17(金) | 10:40~12:00 | 減塩食を楽しく食べるには? | ⑦ 1号館1階 栄養教育実習室 | 30 | 成人男女 |
| 講座内容 | みなさんは、普段塩分を気にしていますか?生活習慣病の発症予防のための塩分目標量は男性7.5g未満、女性6.5g未満に設定されていますが、国民健康・栄養調査(令和元年)では、男性10.9g、女性9.3g摂取していると報告されています。そこで、毎日ちょっとした工夫で負担なく減塩を続けるコツをご紹介します。 | | | 講座担当者 | 健康栄養学科准教授 松本 信子 健康栄養学科助教 鈴木 陽子 | |
| 20 | 11/18(土) | 10:00~11:00 | 目指せ100歳ライフ!脳トレクッキング ~講義編~ | ② 鶴岡記念講堂 多目的室 | 15 | 65歳以上 講義編・実践編の 両日参加可能な方 |
| 講座内容 | 作業工程を考えながら作る料理は、脳のトレーニングになるとともに、健康維持に大切です。100歳ライフを目指して、おいしく楽しくみんなで食べる時間を過ごしませんか? | | | 講座担当者 | 健康栄養学科准教授 山森 栄美 | |
| 21 | 11/20(月) | 15:00~16:30 | 高齢者に多い ^{ひじ} 肘の痛みの治療と リハビリテーション | ② 鶴岡記念講堂 多目的室 | 50 | 一般 |
| 講座内容 | 高齢者に多い肘の痛みの原因に、変形性肘関節症、テニス肘やゴルフ肘などが考えられます。今回は、これらの病態・治療法・予防法・リハビリテーションについて、最近の知見をふまえて、わかりやすくお話ししたいと思います。 | | | 講座担当者 | リハビリテーション学科教授 白戸 力弥 | |
| 22 | 11/21(火) | 13:00~14:00 | 作業療法ってなんだろう? | ③ 鶴岡記念講堂 911教室 | 100 | 一般 |
| 講座内容 | リハビリテーションの1つである作業療法について、他の職種との違い、仕事内容等についてご紹介します。 | | | 講座担当者 | リハビリテーション学科教授 金谷 匡紘 | |
| 23 | 11/21(火) | 13:30~14:30 | こども家庭支援の心理学 ~多様な家庭とその理解~ | ② 鶴岡記念講堂 多目的室 | 20 | 一般 |
| 講座内容 | 貧困家庭、虐待リスクのある家庭、外国にルーツを持つ家庭の増加など、子どもが育つ場である家庭が社会の変容と共に多様化、複雑化しています。私たちはどのような形で子どもや家庭を支えていくことができるのでしょうか。一緒に考えてみませんか。 | | | 講座担当者 | こども発達学教授 吉岡 亜希子 | |
| 24 | 11/22(水) | 13:30~14:30 | 人生の最終段階における医療の選択について ~元気な時から考える医療事前指示書~ | ③ 鶴岡記念講堂 911教室 | 20 | 一般 |
| 講座内容 | ご自身の人生の最終段階のこと、その時に選択する医療について考えたことがありますか? 望んだ場所で最期まで自分らしく生きるために、人生の最終段階の医療について、一緒に考えてみましょう。 | | | 講座担当者 | 看護学科教授 鹿内 あずさ | |